

第3編

地震・火山災害対策編

第1章

総則

目次

第1節	災害履歴	1
第1	地震災害	1
第2	火山災害	1
第2節	被害想定等	2
第1	地震災害	2
第2	火山災害	2

第1節 災害履歴

地震災害、火山災害に関する履歴は次のとおりである。

第1 地震災害

宮城県に被害を及ぼした昭和以降の地震災害は以下のとおりである。本町には特に被害は発生していない。

発生日時	名称	M	県内の主な被害
1933. 3. 3 (昭和 8)	三陸地震	8. 1	津波による被害 死者・行方不明 308 人、 負傷者 145 人、家屋倒壊 528 棟、流出 950 棟
1960. 5. 23 (昭和 35)	チリ地震津波		津波による被害 死者・行方不明 54 人、 負傷者 641 人、建物全壊 977 棟、流失 434 棟
1962. 4. 30 (昭和 37)	宮城県北部地震	6. 5	死者 3 人、負傷者 272 人、住家全壊 340 棟
1978. 6. 12 (昭和 53)	1978 年宮城県沖地震	7. 4	死者 27 人、負傷者 1, 273 人、住家全壊 1, 180 棟
2003. 5. 26 (平成 15)	宮城県沖地震	7. 1	重軽傷者 64 人、住家半壊 11 棟、一部破損 1, 033 棟
2003. 7. 26 (平成 15)	宮城県北部地震	6. 4	重軽傷者 675 人、住家全壊 1, 276 棟、半壊 3, 809 棟、一部損壊 10, 975 棟
2005. 8. 16 (平成 17)	宮城県沖地震	7. 2	負傷者 79 人
2008. 6. 14 (平成 20)	平成 20 年(2008 年) 岩手・宮城内陸地震	7. 2	死亡者 14 人、負傷者 365 人、住家全壊 28 棟、 半壊 141 棟、一部破損 1, 733 棟
2011. 3. 11 (平成 23)	平成 23 年(2011 年) 東北地方太平洋沖地 震	9. 0	死亡者 10, 507 人、行方不明者 1, 259 人、 住家全壊 82, 993 棟 (H26. 10. 31 現在) ※2011. 4. 7 の余震 (M7. 2) を含む

第2 火山災害

宮城県と山形県の県境にある蔵王山は活火山であり、約3 万年前に馬の背カルデラが形成され、約3~2 千年前に五色岳による火山活動が発生し、約千年前以降は御釜による火山活動が発生している。

近年では、1940 (昭和15) 年に新噴気孔生成、1990 (平成2) 年および2015 (平成27) 年に地震群発といった火山活動が観測されている。

第2節 被害想定等

地震災害、火山災害の被害想定は次のとおりである。

第1 地震災害

宮城県は「宮城県沖地震（単独）」、「宮城県沖地震（連動）」、「長町―利府線断層帯の地震」の3地震について被害想定を行っており、「宮城県地震被害想定調査に関する報告書（平成16年3月）」によると本町の想定される被害は次のとおりである。

		宮城県沖地震 (単独)	宮城県沖地震 (連動)	長町―利府線 断層帯の地震
平均震度		5.00	5.01	4.30
建物被害	全壊棟数	0	0	0
	半壊棟数	0	0	0
死者	朝4時火災なし	0	0	0
	夏昼12時	0	0	0
	冬夕18時	0	0	0
負傷者	朝4時火災なし	0	0	0
	夏昼12時	0	0	0
	冬夕18時	0	0	0
上水道被害	被害数	3箇所	3箇所	0
	支障世帯数	14件	14件	0
下水道被害	被害数	0	0	0

第2 火山災害

(財)砂防・地すべり技術センターが調査、製作した「蔵王山火山防災マップ」によると、蔵王山の御釜を中心に噴火した場合、火砕サージ（高温ガスの熱風）が東方向に向かって発生すると予想されている。蔵王山の南側に位置する本町においては、それほど大きな被害の発生はなく、町の北部から東部を中心に降灰が予想されている。降灰の量は、御釜から7.5kmまで100cm、10kmまで50cm、12.5kmまで30cm、20km付近まで10cm程度と予想されている。

【資料 2-11】 蔵王山ハザードマップ